

## 報

## ◎人事

從四位勳三等 清水 多 榮  
學術研究會議員被仰付  
從三位勳二等 田 村 於 兎  
依願學術研究會議員被免 (三月二十七日)  
衛生技師 小 川 壽  
陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル  
(三月三十日)  
岡山醫科大學助教授 中 井 良 平  
陞敍高等官四等  
岡山醫科大學助教授 淺 越 嘉 威  
陞敍高等官六等  
(四月一日)  
防疫醫兼衛生技師 竹 内 守 之 輔  
願ニ依リ本職並ニ兼職ヲ免ス  
地方技師 竹 内 守 之 輔  
五級俸下賜  
岩手縣勤務ヲ命ス (四月四日)  
軍事保護院醫官 高 原 劍 二 郎  
九級俸下賜 (三月三十一日)  
岡山醫科大學長 清 水 多 榮  
岡山縣防空委員會委員ヲ命ス  
(四月八日)  
岡山醫科大學教授 生 沼 曹 六  
年俸六百圓加賜 (四月四日)  
岡山醫科大學教授 根 岸 博  
補岡山醫科大學附屬醫院長  
職務俸金千九百五拾圓下賜  
岡山醫科大學教授 津 田 誠 次  
依願岡山醫科大學附屬醫院長ヲ免ス  
職務俸金千五百參拾圓下賜 (四月六日)  
岡山醫科大學助教授 栗 林 太 郎  
本俸九級俸下賜 (四月九日)

敍正七位 從七位 村 上 榮  
(十二月十五日)  
正六位勳四等 岸 本 春 榮  
從四位勳四等 林 道 倫  
敍勳三等授瑞寶章  
(四月十八日)  
岡山醫科大學教授 好 本 節  
年俸六百圓加賜  
(四月十八日)

○青山 勉君 は今般岡山縣兒島郡日比町玉造船所病院を辭し再び岡山醫科大學石山外科教室に於て研究に従事せられたり

○五島 洋君 豫て山口縣岩國病院に勤務中の同君は今般同院を辭し再び岡山醫科大學産婦人科教室に於て研究に従事せられたり

○末永邦忠君 は今般高知市日本赤十字社支部病院を辭し岡山醫科大學北山内科教室に於て研究せらる

椋代角一君逝く 君は大正元年岡山醫學專門學校を卒業し本縣苫田郡芳野村に於て開業し居られしが本月初旬往診の途中汽車と衝突し不慮の死を遂げられたりと寔に哀悼に堪へず謹みて茲に弔意を表す

南川欣司君逝く 君は大正二年岡山醫學專門學校を卒業し尼ヶ崎市に於て開業し居られしが先般來二醫に襲はれ臥褥中なりしか急に病革まり本月10日遂に永眠せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

中村馨君逝く 君は昭和12年岡山醫科大學を卒業し富山縣松倉診療院に勤務し後姫路市北條病院に轉勤し1昨年より岡山醫科大學北山内科教室に於て研究中なりしが近來少しく健康を害し入院治療中なりしも醫藥其效を奏せず本月17日遂に永眠せられたり寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

◎學位授與

次の13君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが次記割註の通り孰れも醫學博士の學位を授與せられたり

氏名	教授會通過年月日	學位授與年月日
深井昇平	昭和15年1月15日	昭和15年3月9日
松下正	同上	同上
馬場信秀	同上	同上
廣本達吉	同上	同上
板野坂惠	昭和15年2月5日	昭和15年3月16日
三宅幹夫	同上	同上
三船歎一	同上	同上
藤原拓士	同上	同上
新本勇夫	昭和15年2月19日	昭和15年3月27日
久保田正治	同上	同上
鮫島宗雄	同上	同上
駒飼昌雄	昭和15年3月4日	昭和15年4月1日
加藤良六	昭和15年3月18日	昭和15年4月15日

其主論文及び參考論文は次記の如し

深井昇平君

主論文

副腎ノ組織學的研究

1. 甲状腺剥出ガ副腎組織ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第45年第8號ニ發表ス)
2. 膽汁鬱滯ニ由ル副腎ノ組織學的變化ニ就テ

(本誌第46年第9號ニ發表ス)

3. Adrenalin注射ニ由ル副腎ノ組織學的變化ニ就テ (本誌第51年第2號ニ發表ス)

參考論文

1. 脾臟別出後ニ於ケル2—3臟器ノ組織學的變化ニ就テ
  - 其1. 脾臟別出後ニ於ケル副腎ノ變化ニ就テ (本誌第48年第7號ニ發表ス)
  - 其2. 脾臟別出後ニ於ケル肝臟ノ變化ニ就テ (本誌第51年第6號ニ發表ス)
2. 乳腺内分泌ノ副腎ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第51年第7號ニ發表ス)
3. 家雞肝細胞ニ於ケルGolgi氏裝置ノ發生學的研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

松下正君

主論文

腦損傷ト肺病變トニ關スル實驗的研究

- 其1. 前腦部腦底部位ニ延髄部損傷時ニ於ケル肺臟變化ニ就テ (日本外科學會雜誌昭和15年2月ニ發表ス)
- 其2. 脊側迷走神經核部損傷時ニ於ケル肺虛脱生成ニ就テ (日本外科學會雜誌昭和15年2月ニ發表ス)
- 其3. 脊側迷走神經核部損傷ノ氣管内壓位ニ胸廓呼吸運動ニ及ボス影響 (日本外科學會雜誌昭和15年3月ニ發表ス)
- 其4. 脊側迷走神經核部損傷ノ肺臟血管ニ及ボス影響「レントゲン」學的觀察 (日本外科學會雜誌昭和15年3月ニ發表ス)
- 其5. 全編總括位ニ余ノ實驗成績ヨリ見タル術後急性肺虛脱原因論ニ對スル1考察 (日本外科學會雜誌昭和15年3月ニ發表ス)

參考論文

- 其1. 稀有ナル小腦蟲核部脱落ニヨル呼吸麻痺ヲ以テ急死セシ腦内水腫例ト其肺臟變化ニ就テ (グレンツガピート第13年第9號ニ發表ス)

- 其2. 11歳ノ小兒ニ見タル外傷性皮膚癌(東京醫事新誌第3048號ニ發表ス)
- 其3. 腸狭窄症狀ヲ呈セシ5箇月乳兒ノ所謂胎生兒腎臟混合腫瘍例(日本臨牀外科學會雜誌第2回第2號ニ發表ス)
- 其4. ホルトル症候群ヲ以テ來レル乳兒頸部肉腫(東京醫事新誌第3146號ニ發表ス)
- 其5. 巨大ナル膀胱結石例(東京醫事新誌第2760號ニ發表ス)

馬場 信 秀 君

### 主 論 文

#### Phenylendiaminノ毒物學的研究

- 第1報 染毛劑主藥 Para-Phenylendiamin及ビ Orthometa 異性體ノ動物ニ於ケル一般中毒作用竝ニ病理學的變化(臺灣醫學會雜誌第37卷第1, 2號ニ發表ス)
- 第2報 呼吸及ビ循環器ニ及ボス作用(臺灣醫學會雜誌第37卷第6號別刷ニ發表ス)
- 第3報 滑平筋臟器及ビ骨路筋等ニ及ボス作用竝ニ酸化物毒性及ビ中毒尿排泄ニ就テ(臺灣醫學會雜誌第37卷第12號ニ發表ス)
- 第4報 染毛劑中毒ニ於ケル Para-Phenylendiamine 證明法トシテノ松柏科植物木質部薄片應用ニ就テ(臺灣醫學會雜誌第34卷第6號別刷ニ發表ス)
- 第5報 「パラフェニレンヂアミン」中毒ノ綜説及ビ同藥ヲ主劑トスル染毛劑飲用ニヨル人體急性中毒例(臨牀的及ビ病理解剖的所見)ニ就テ(臺灣醫學會雜誌第34卷第9號別刷ニ發表ス)

### 參考論文

1. 肝臟原發性肉腫ニ就テ(臺灣醫學會雜誌第32卷第4號別刷ニ發表ス)
2. 膀胱結石ノ核ヲナセシ膀胱異物ノ2例竝ニ異物ノ統計的觀察(臺灣醫學會雜誌第32卷第4號別刷ニ發表ス)

3. 重量7g迄萎縮セル大人脾臟ニ就テ(臺灣醫學會雜誌第33卷第9號ニ發表ス)
4. 人及ビ乳牛ニ頻發セル多發性出血性筋炎ニ就テ(小野新市共著)(臺灣醫學會雜誌第33卷第9號ニ發表ス)
5. 小兒ニ於ケル肉芽腫樣結核性脾腫ノ1例ニ就テ(兒科雜誌第413號別刷ニ發表ス)
6. 暴力ノ作用ニヨル心臓破裂ニ就テ及ビ其ノ實驗的研究(劉氏淑共著)(臺灣醫學會雜誌第34卷第12號ニ發表ス)
7. 猫ノ腎臟細尿管上皮ニ存ヘル脂肪ニ就テ(劉氏淑共著)(臺灣醫學會雜誌第35卷第3號ニ發表ス)
8. Chondrodystrophia Faetalis(Kaufmann)ニ就テ(玻座眞里芳共著)(臺灣醫學會雜誌第35卷第11號ニ發表ス)
9. 熱帶「マラリヤ」ニ於ケル中樞神經組織ノ病理組織的研究(和氣巖共著)(日本病理學會誌第27卷第460頁ニ發表ス)
10. 肝臟及ビ腸間膜ニ於ケル巨大ナル海綿樣血管腫ノ各1例及ビ其ノ歸結ニ就テ(岡本榮次藤井善男共著)(臺灣醫學會雜誌第23卷第9號ニ發表ス)
11. 臺灣ニ於ケル剖檢屍體ヨリ見タル脾腫竝ニ脾臟破裂ノ統計的觀察(德重泰義, 劉氏淑共著)(臺灣醫學會雜誌第36卷第5號ニ發表ス)
12. 再ビ猫科動物(虎)ノ腎臟ニ於ケル多量ノ脂肪沈着ニ就テ(宮本佐市, 劉氏淑共著)(臺灣醫學會雜誌第36卷第7號ニ發表ス)

廣 本 達 吉 君

### 主 論 文

- 空氣遮斷ノ孵化雞卵内ニ於ケル「アラニン」ヨリノ乳酸生成(岡山醫科大學歐文業第6卷第3號ニ發表ス)

### 參考論文

1. 實驗的日本住血吸蟲病家兔血液ノ化學的成

分=就テ(本誌第51年第8號=發表ス)

2. 實驗の筭形二口蟲病家兎血液ノ理學の所見=就テ(重信琢雄, 廣本達吉共著)(本誌第44年第5號=發表ス)
3. 豆粕ノ人體=於ケル吸收試驗(廣本達吉, 遠藤中節共著)(本誌第50年第7號=發表ス)
4. 石油投與家兎尿=就テ(本誌第50年第7號=發表ス)
5. 自動車排出瓦斯吸入ノ家兎尿及ビ同血液=及ボス影響(西崎武玄一, 廣本達吉共著)(本誌第50年第12號=發表ス)
6. 他殺ノ目的ヲ以テ異常=多量ノ昇汞ヲ食物中=混入シタル1例(廣本達吉, 六車清茂共著)(本誌第50年第6號=發表ス)

板野坂惠君

主論文

炎衝反應傾向=就テ

1. 「カルシウム」解熱劑及ビ催眠劑等ノ影響(本誌第52年第3號=發表ス)
1. 非特異性刺戟劑注射=對スル胞内細胞ノ食喰機能ノ態度(本誌第52年第4號=發表ス)
1. 胞内細胞ノ食喰機能=對スル緩衝液「カルシウム」解熱劑, 催眠劑, 瀉血等ノ影響(追テ本誌=發表ノ豫定)

參考論文

1. 炎衝反應傾向=就テ(龜山茂松共著)
  - イ. 「カゼオザン」注射ノ影響(本誌第47年第11號=發表ス)
  - ロ. 網狀織内被細胞系統及ビ緩衝液注入トノ關係(本誌第47年第12號=發表ス)
  - ハ. 「カンタリヂン」發痘ト胞内細胞ノ變化(本誌第49年第4號=發表ス)
2. 家兎皮下組織球性細胞ノ蠟粒食喰機能=就テ(龜山茂松共著)(本誌第48年第8號=發表ス)

三宅幹夫君

主論文

糖刺=關スル實驗的研究

- 其1. 糖刺=因ル過血糖ノ發生機轉=就テ(岡山醫科大學歐文業府第5卷第2號=發表ス)
- 其2. 糖刺=因ル過血糖ノ由來=就テ(岡山醫科大學歐文業府第6卷第2號=發表ス)

參考論文

1. パーカー氏炭酸瓦斯微量定量法ノ實驗的吟味(本誌第48年第2號=發表ス)
2. 副甲状腺摘出後ノ「テタ=」=關スル知見補遺(本誌第51年第12號=發表ス)
3. 「コカイン」過敏家兎腸管ノ藥理=就テ第1報(本誌第47年第10號=發表ス)
4. 同上 第2報(本誌第47年第11號=發表ス)
5. 莖剔出神經心臟標本=於ケル迷走交感神經幹ノ電氣的刺戟效果=及ボス2, 3「デギタリス」屬製劑ノ作用=就テ(本誌第48年第11號=發表ス)
6. 莖剔出心臟=對スル2, 3「デギタリス」屬製劑ノ作用=及ボス自律神經毒並筋肉毒ノ影響=就テ(本誌第48年第12號=發表ス)
7. 興味アル骨折ノ2例(軍醫園雜誌第258號=發表ス)
8. Myxoglobuloseノ1例=就テ(軍醫園雜誌第259號=發表ス)
9. 瘻孔ノ「リビオドール」注入療法=就テ(軍醫園雜誌第253號=發表ス)
10. 山口縣下=於ケル青少年ノ性慾狀態調査報告(防長醫藥評論第273—276號=發表ス)

三船歡一君

主論文

濱崎氏耐酸性顆粒ノ實驗的生成並ニ細胞核病理學知見補遺

## 第1編 新鮮組織無菌の保存法

其1. フォイルゲン氏反應ト「クローム」耐酸性顆粒トノ關係 (本誌第51年第9號=發表ス)

其2. 銅及ビ汞耐酸性顆粒 (本誌第51年第12號=發表ス)

## 第2編 腎動脈結紮法(追テ本誌=發表ノ豫定)

## 第3編 新鮮組織ノ有機溶媒浸漬實驗(追テ本誌=發表ノ豫定)

## 參考論文

1. 濱崎氏耐酸性顆粒ト珪曹注射=依ル澱粉様物質沈着症ノ關係=就テ

第1報 「クローム」耐酸性顆粒=就テ(本誌第50年第4號=發表ス)

第2報 銅及ビ汞耐酸性顆粒=就テ(本誌第50年第7號=發表ス)

第3報 「ヒストン」ト耐酸性顆粒ノ消長=就テ(本誌第51年第11號=發表ス)

2. 甲状腺=發生ヒル「カルチノザルコーム」ノ1剖檢例(本誌第51年第12號=發表ス)

---

藤原拓士君

## 主論文

電気心働圖ヨリ見タル温傷ノ心臟=及ボス影響(實驗的研究)

第1. 絶對的飢餓ノ電気心働圖=就テ(實驗的研究)(本誌第51年第10號=發表ス)

第2. 温傷ノ電気心働圖=就テ(實驗的研究)(本法第51年第10號=發表ス)

第3. 死戰期電気心働圖=就テ(實驗的研究)(本誌第51年第10號=發表ス)

## 參考論文

1. 重複足(Doppelfuss)ノ1例(日本整形外科學會雜誌第11卷第3號=發表ス)

2. 急性蟲様突起炎=依ル輸卵管水腫化膿ノ1例(日本外科學會雜誌第37回第6號=發表ス)

3. 1次性耻骨々髓炎ノ1例(臨牀雜誌「外科」第3卷第6號=發表ス)

4. 坐骨「カリニス」ノ1例(臨牀雜誌「外科」第1卷第6號=發表ス)

5. 惡性腫瘍轉移ト誤診セラレタル多發性膿腫=就テ(臨牀雜誌「外科」第3卷第10號=發表ス)

---

新本勇夫君

## 主論文

夾竹桃有效成分「オドリソ」ノ藥理學的研究

其1. 一般作用致死量,呼吸及ビ體温=及ボス影響(本誌第50年第12號=發表ス)

其2. 心臟=對スル作用並=蓄積作用=就テ(本誌第51年第7號=發表セリ)

其3. 血管血壓及ビ尿排泄=及ボス影響(本誌第51年第9號=發表セリ)

## 參考論文

1. 生體內=於ケル腸管運動描畫方法=關スル1考案並=腸管水分吸收=就テ(本誌第51年第5號=發表セリ)

2. 2,3植物神經毒ノ家兎血壓並=腦脊髄液壓=及ボス影響=就テ(本誌第51年第7號=發表セリ)

3. 夾竹桃有效成分「オドリソ」ノ藥理學的研究追補

心臟=對スル作用「ヒニン」「カルチアゾール」及ビ「コフエイン」ト併用=就テ(本誌第51年第1號=發表ス)

4. 「シントロバン」ノ家兎摘出滑平筋臟器=對スル作用(追テ本誌=發表ノ豫定)

5. 各種原糖類ノ腸管内吸收=就テ(西原一二共著)(日本消化機病學會雜誌第37卷第4號=發表セリ)

---

久保田正治君

## 主論文

蟲様突起炎=關スル研究補遺

第1編 統計的觀察 (本誌第52年第4號=發表表セリ)

第2編 細菌學的研究(追テ本誌=發表ノ豫定)

第3編 病理組織學的檢索 (追テ本誌=發表ノ豫定)

第4編 蟲樣突起=於ケル結核性病變=就テ(追テ本誌=發表ノ豫定)

第5編 炎症性蟲樣突起組織=於ケル濱崎氏永耐酸性顆粒ノ消長=就テ(追テ本誌=發表ノ豫定)

參考論文

1. 實驗動物=偶發セル腫瘤2例(東京顯微鏡學會雜誌第42卷第4號=發表ス)
2. 手榴彈投擲小隊教練中=發セル筋力=ヨル脛骨不全骨折ノ1例(軍醫團新誌第207號=發表ス)
3. 凍傷特=其治療=對スル臨牀的研究(軍醫團雜誌第187—198號=發表ス)
4. 「スキー」骨折=就テ(軍醫團雜誌第221號=發表ス)

鮫島宗雄君

主論文

南洋群島原住民(ミクロネシア民族)ノ民族衛生學的研究

- 其1. 南洋群島原住民(ミクロネシア族)ノ人口=關スル醫學統計的研究(民族生物學研究第8輯=發表ス)
- 其2. 「ミクロネシア」民族(マーシャル人)ノ體質人類學的研究(民族生物學研究第5輯=發表ス)

參考論文

1. マーシャル群島原住民(ミクロネシア族)ノ指紋研究(追テ民族衛生=發表ノ豫定)
2. 鹿兒島縣人指紋ノ研究(民族生物學研究第8輯=發表ス)
3. マーシャル群島々民小兒=於ケル血清學的

觀察(民族生物學研究第7輯=發表ス)

4. マーシャル群島原住民齒牙ノ民族生物學的研究(江西甚良共著)(齒科月報第19卷第1號=發表ス)
5. 薩摩, 大隅, 奄美大島, 琉球人ノ體質人類學的研究(加藤義次郎共著)(民族生物學研究第7輯=發表ス)
6. 南洋ミクロネシア族ノ女性骨盤=就テ(人類學雜誌第51卷第7號=發表ス)
7. ノルウエー人及ビ上海支那人ノ人種形質管見(民族生物學研究第7輯=發表ス)
8. マーシャル群島=於ケル呼吸器病ノ調査研究(南洋醫學論文集第4輯=發表ス)
9. マーシャル群島々民ノ微毒問題(遺傳微毒?ノ1例)(南洋醫學論文集第4輯=發表ス)

鶴飼昌雄君

主論文

「アルホール」新陳代謝=關スル研究

1. 血中「アルコール」量ノ消長=就テ(第2報)家兎血中「アルコール」=及ボス「サイロキシン」ノ影響(本誌第51年第12號=發表ス)
2. 同上(第3報)肝糖原質トノ關係(本誌第51年第12號=發表ス)
3. 同上(第4報)「カルチウム」鹽液並=「アルカリ」性磷酸鹽液注入ノ血中「アルコール」量=及ボス影響(本誌第52年第2號=發表ス)

參考論文

1. 血中「アルコール」量ノ消長=就テ(第1報)家兎=於ケル「アルコール」投與研究(Widmark氏法追試成績)(本誌第51年第12號=發表ス)
2. 動物體內解毒作用ト其ノ變調=關スル研究(佐藤靜馬, 鶴飼昌雄共著)(本誌第51年第4號=發表ス)

3. 動物體內解毒作用ト酸化機序トノ干繋ニ就テ (佐藤静馬, 鶴飼昌雄共著) (本誌第51年第5號ニ發表ス)
4. 高度ノ黄直ヲ伴ヘル穿孔性腸「チフス」ノ1割檢例 (追テ日本傳染病學會雜誌ニ發表ノ豫定)

加藤良六君

主論文

2 新「アンチモン」化合物ノ藥理學的研究

- 其1. 一般作用, 毒性及ビ呼吸並ニ血壓ニ及ボス影響 (本誌第50年第8號ニ發表ス)
- 其2. 心臟, 血管並ニ骨格筋ニ及ボス影響 (本誌第50年第8號ニ發表ス)
- 其3. 滑平筋臟器ニ及ボス影響 (本誌第50年第10號ニ發表ス)
- 其4. 血糖, 血球, 體温並ニ尿排泄ニ及ボス影響 (本誌第51年第1號ニ發表ス)
- 其5. 2 新「アンチモン」製劑ノ肝臟「ヂストマ」症ニ對スル治療的效果ニ關スル實驗的研究 (本誌第52年第1號ニ發表ス)

參考論文

1. 刺戟性瓦斯ニ依ル鼻粘膜刺戟ノ腸管運動血壓及ビ呼吸ニ及ボス影響 (本誌第51年第3號ニ發表ス)
2. 「エビバンナトリウム」ノ藥理學的研究追補特ニ滑平筋臟器ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第50年第12號ニ發表ス)
3. 諸種製劑ノ河豚毒々性ニ及ボス影響ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

◎新卒業生消息

本年3月岡山醫科大學を卒業せし諸君の消息は次の如し

相浦正人 岡山醫科大學小兒科教室勤務  
秋本若二 岡山醫科大學産婦人科教室勤務  
有地康太 岡山醫科大學津田外科教室勤務

石井忠信 岡山醫科大學産婦人科教室勤務  
石井正義 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
石川泰輔 滿洲國奉天省海城健康廠勤務  
石田主基男 岡山醫科大學産婦人科教室勤務  
石田義明 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
稻岡温 岡山醫科大學生化學教室勤務  
岩野郁造 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
上田賢 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
内田毅 岡山醫科大學石山外科教室勤務  
生山昌平 岡山醫科大學解剖學教室勤務  
岡十郎 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
岡本正 岡山醫科大學北山内科教室勤務  
小倉道郎 岡山醫科大學小兒科教室勤務  
小野大三 岡山醫科大學石山外科教室勤務  
景山杏祐 岡山醫科大學衛生學教室勤務  
片木正雄 海軍軍醫  
門野義富 岡山醫科大學産婦人科教室勤務  
菊地敏行 岡山醫科大學北山内科教室勤務  
北村征男 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
木下博史 日本赤十字社支部岡山病院勤務  
木村繁 岡山醫科大學眼科教室勤務  
木本静广 大阪帝國大學醫學部勤務  
清川義雄 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
桑原四郎 岡山醫科大學石山外科教室勤務  
河野貞三 滿洲國  
兄部義造 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
小坂淳夫 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
小手川精行 岡山醫科大學解剖學教室勤務  
小西信夫 岡山醫科大學石山外科教室勤務  
近藤良一 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
後藤睦年 岡山醫科大學精神神經科教室勤務  
志熊常也 岡山醫科大學眼科教室勤務  
篠原敏夫 廣島逓信診療所勤務  
柴田八郎 岡山醫科大學産婦人科教室勤務  
神實定吾 海軍軍醫  
鈴木敏 滿洲錦洲赤十字社醫院勤務  
妹尾健一 岡山醫科大學小兒科教室勤務

世良英彌 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
 高田善雄 滿洲鐵道醫院勤務  
 瀧澤敏正 滿洲國  
 立神誠三 岡山醫科大學眼科教室勤務  
 田中逸穗 鳥取市立病院勤務  
 田野口忠允 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
 玉川保 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 田村章 岡山醫科大學解剖學教室勤務  
 津田輝義 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 中神博 岡山醫科大學衛生學教室勤務  
 中村正治郎 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 長尾利行 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 那須毅 岡山醫科大學病理學教室勤務  
 西田勇 岡山醫科大學生理學教室勤務  
 原田恒 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 廣瀬英雄 陸軍軍醫  
 弘中滿 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 福岡弘 廣島逓信診療所勤務  
 藤井千秋 岡山醫科大學北山内科教室勤務  
 益田義行 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 益谷達志 陸軍軍醫  
 松田昌雄 岡山醫科大學解剖學教室勤務  
 三木正樹 岡山醫科大學産婦人産教室勤務  
 宮本正明 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 宮本祥郎 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 武藤和美 岡山醫科大學北山内科教室勤務  
 矢谷道義 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
 矢部金次 陸軍軍醫  
 山崎邦男 慶應義塾大學醫學部勤務  
 山本英吉 岡山醫科大學石山外科教室勤務  
 大和人士 陸軍軍醫  
 吉田正義 滿洲鐵道醫院勤務  
 渡邊武志 岡山醫科大學稻田内科教室勤務

◎岡山醫科大學入學者

昭和15年の岡山醫科大學入學者は次の如し

阿南壬午郎 磯部巖

岩田一郎 岩田耕  
 梅田勇 太池完治  
 大越良一 糟谷義傳  
 川眞田幸 桑内國雄  
 古谷純一 佐藤章  
 瀬戸正 高畑末男  
 田中恒治 田中敏輝  
 田邊澄 田邊四郎  
 爲森壽夫 筒井深  
 椿田祐彦 中村治世  
 西川敏清 野一色義泰  
 平田宗正 福田七生  
 藤田利基 藤本和正  
 本村安男 松枝秀  
 松田慶嗣 松房富士郎  
 松本陸夫 松本萬輔  
 三谷彰 光町弘  
 森永寛 森本嘉一  
 山崎輝男 山本道夫  
 渡邊濟

◎岡山醫科大學臨時附屬醫學專門部

入學者

昭和15年の岡山醫科大學臨時附屬醫學專門部入  
 學志願者は370名にして募集定員を超過せしを以  
 て選抜試験の結果次の通り入學を許可したり

青山俊雄 秋田正典  
 秋庭喜久男 井桁孝正  
 生島保 石橋將孝  
 宇都宮信博 上森義  
 江尻通啓 小幡好照  
 尾形英雄 岡田典一  
 大月水人 恩地公雄  
 河原信弘 勝野太郎  
 木谷進 岸本正義  
 小堀正徳 黄宗鎧  
 高知床志 眞田達郎



鹽見 太郎	瀨政 正澄
田村 甫	高田 弘平
高取 三郎	高橋 修
高橋 進	竹田 富郎
丹原 利定	張 文魁
陳 維修	陳 榜勳
津田 滋	中村 宗雄
波多野 元之	濱窪 英作
原 嘉之	長谷川 宏之
福武 博重	藤井 正二
藤原 政登	松田 一雄
松島 眞三	松永 守人
松本 淺一	柳川 多喜男
山下 恂	水島 宮夫
三井 春也	見村 弘雄
三好 義一	守屋 泰三
吉田 勝文	吉田 清敏
吉田 三東	吉光 正之
林 國財	林 廻惠

◎第7回日本營養學會總會

同會は本月6,7兩日岡山醫科大學生化學教室に於て開會せり其大要は次の如し

第1日 4月6日 午前9時開會

開會の辭

會長 佐伯 矩

報告演説

旱魃被害の米に就て

榮養研究所 原井 徹一  
同 同 上田 憲富

紀元二千五百年の米に就て

榮養研究所 原 徹一

玄米, 七分搗米, 白米の消化吸収試験

榮養研究所 田村 盈之 輔治  
同 同 中 喜平 夫や  
同 同 次 和 子  
同 同 住 田 藤 壽  
同 同 佐 佐 伯

追加

會長 佐伯 矩

貯藏米判定の要項

其の1 物理的並に生化學的要項

榮養研究所 樋口 太郎  
同 同 佐藤 壽子

貯藏による玄米品質の變化

其の1 物理的性質

其の2 普通成分

榮養研究所 樋口 太郎  
同 同 井上 憲政  
同 同 松澤 九二郎

貯藏による玄米品質の變化

其の3 活性

榮養研究所 樋口 太郎

貯藏による玄米品質の變化

其の4 脂肪

榮養研究所 原 徹一  
同 同 和田 富起

貯藏による玄米品質の變化

其の5 糠

榮養研究所 加藤 正吉  
同 同 佐々木 理喜

貯藏による玄米品質の變化

其の6 ヴイタミンB<sub>1</sub>

榮養研究所 松室 秀夫  
同 同 大速 磯水 敏雄

米のヴイタミンB<sub>1</sub>含有量に關する研究

其の1 新玄米のヴイタミンB<sub>1</sub>含有量

榮養研究所 松室 秀夫  
同 同 大磯 敏雄

米のヴイタミンB<sub>1</sub>含有量に關する研究

其の2 搗精度によるヴイタミンB<sub>1</sub>含有量の變化

榮養研究所 松室 秀夫  
同 同 大磯 敏雄

米のヴイタミンB<sub>1</sub>含有量に關する研究

其の3 炊飯によるヴイタミンB<sub>1</sub>含有量の變化

榮養研究所 松室 秀夫  
同 同 大磯 敏雄

白米によるヴイタミンB<sub>1</sub>缺乏症の豫防に必要な最低胚芽量の研究

大阪市衛生試験所 福永 昇

腸管内寄生細菌類のヴイタミンB<sub>1</sub>に及ぼす影響

大阪市衛生試験所 前田 利雄

高温環境又は高熱體温が尿中ヴイタミンB<sub>1</sub>排泄に及ぼす影響

大阪市衛生試験所 岩本 邦太郎

ビタミンB及びビタミンCの相互關係に就て

阪大醫學部小兒科教室 西澤 義人  
同 平尾 重男

チオクローム法によるビタミンB<sub>1</sub>の定量

(第2報)

榮養研究所 加藤 正吉  
同 佐々木 理喜

ビタミンB<sub>1</sub>, B<sub>2</sub>の雌性性周期に及ぼす影響に就て

岡山醫大産婦人科教室 徳久 克巳

脚氣とビタミンA減少症

岡山醫大眼科教室 筒井 徳光

調理による榮養素の變化に關する研究

第4報 維生素Cに就て

慶應醫學部榮養研究所 奥田 淳子  
維生素C缺乏の妊娠並に胎兒に及ぼす影響に就て

岡山醫大産婦人科教室 中村 徳三郎  
維生素P(ヘスベリヂン)知見補遺

阪大醫學部小兒科教室 吉田 邦夫

維生素K同族體の研究

大阪市衛生試験所 岡原 國男  
同 大久保 忠男  
同 服部 啓六

大豆中の催乳物質に關する研究 (第4報)

大阪市衛生試験所 岩狭 與三郎

藥用酵母の製造に就て

阪大工學部 高田 亮平

朝鮮に於ける住民の食に關する榮養學的視察

京城大醫學部小兒科教室 高井 俊夫

朝鮮に於ける旱害地區住民の食に就て

京城大醫學部小兒科教室 高井 俊夫  
同 矢崎 光子

市販人造バター の品位に就て

大阪市衛生試験所 林 右市

屑米の成分に就て

大阪市衛生試験所 林 右市  
同 足利 千枝

Escherichia及びAerobacter群の„IMVIC“反應とα-Methyl-Glucosideの醱酵に就て

榮養研究所 井上 憲政

市販納豆より分離せるAerobacterに就て

榮養研究所 井上 憲政

煮干の砂分に就て

榮養研究所 松澤 九二雄

カロリー計算尺と其の應用

榮養研究所 大露 敏雄  
同 露木 貞夫

奈良地方に於ける米穀搗精試験成績

(七分搗と胚芽米との調製比較)

奈良縣奈良保健所 松村 久吉

第2日 4月7日 午前9時開會

特別講演

榮養學上より見たる膽汁酸

岡山醫大教授 清水 多榮

報告演説

米の代用食に就て

大阪市衛生試験所 下田 吉人

簡易榮養食に關する研究 (第1報)

大阪市衛生試験所 茶珍 俊夫  
同 久保 正徳

沃素の生化學的研究 (第3報)

魚體各部の沃素の蓄積に就て

大阪市衛生試験所 大久保 忠雄

沃素の生化學的研究 (第4報)

兎の各部の沃素蓄積に就て

大阪市衛生試験所 大久保 忠雄

葡萄糖酸カルチウムの注射時並に各種食餌に依る血中カルチウム及び排泄尿中カルチウムの消長

長崎醫大影浦内科教室 高田 秧一

燒の新陳代謝に關する研究

大阪市衛生試験所 茶珍 俊夫  
同 張 信成

半透膜に依る鹽魚の鹽抜きに就て

大阪市衛生試験所 岩狭 與三郎  
同 別所 秀子

大小腸液の蛋白分解酵素作用に就て

東北大醫學部生化學教室 松尾 正孝

雞卵のドーバオキシダーゼに就て

臺北大醫學部生化學教室 今村 博之

麥芽デアスターゼの化學性

第1報 麥芽デアスターゼ溶液に及ぼす温度の影響

大阪市衛生試験所 岡原 國男  
同 鈴木 培夫

麥芽デアスターゼの化學性

第2報 麥芽デアスターゼに及ぼすペブシン及びパバインの影響

大阪市衛生試験所 岡原 國男  
同 鈴木 培夫

## Caseinotrypton に就て

東北大學醫學部生化學教室 陳 志 藻

## アミノ酸綜合劑の非經口的營養に就て

武田營養化學研究所 古 武 彌 三

## フィッシュミールの食糧化に關する研究 (第1報)

## 鰯エキス成分(2)呈味成分に就て

阪大工學部高田研究室 中 江 正

## 結核豫防の見地に基く學童の肝油服用に關する研究

島根縣衛生課 早 川 二 郎

## 島根縣に於ける營養改善の實際

島根縣衛生課 早 川 二 郎  
同 和 井 兼 尾

## 肺結核患者喀痰を對象とせる食餌獻立の實例

東京警察病院特別調理室 宮 川 哲 子

## 營養と創傷治癒との關係

## 食物の組成が皮膚創傷治癒に及ぼす影響

## 熱源性營養素に關する實驗 (第7次試驗)

榮 養 研 究 所 速 水 泷 雄  
同 大 磯 敏 雄

## 癌の發生及び發育と核酸特にビリミジン體(豫報)

岡山醫大生化學教室 井 坂 英 雄  
同 深 井 昇 平

## 鐘紡淀川支店に於ける營養改善實施經過並に成績報告 (第1報)

大阪府工場課 千 川 類 五 郎  
鐘紡淀川支店 小 澤 武 雄 子  
同 清 水 里 子

## 愛媛縣に於ける農繁期營養食共同炊事に就て

愛媛縣衛生課 池 山 一 男

## 完全無洗米の效果に就て

京都府衛生課 藤 田 茂 尙 慧  
同 山 田 尚 次  
鐘紡山科工場 山 崎 勇 次 郎

## 稀有なる食慾不振症の1治驗

榮 養 研 究 所 佐 伯 矩 子  
同 稻 田 多 美 子

## 米の搗精度檢定法の正確度

榮 養 研 究 所 佐 伯 矩 孝  
同 福 井 忠 孝

## 簡易なる米の搗精度檢定法

榮 養 學 校 佐 伯 芳 子

## 米の搗精檢定法の適用性

榮 養 研 究 所 佐 伯 矩 子

## 閉會の辭

準備委員長 清 水 多 榮

## ◎岡山醫學會第358回通常會

本年5月16日午後4時より岡山醫科大學に於て開會し次の講演ある豫定なり

胞隔性肺炎の病理組織學的研究

玉 川 忠 太 君